

# タウンミーティングの意見と回答

平成 24 年 2 月 25 日（土）

黒字は市民意見、赤字は市の回答と対応

## 1. タウンミーティングの感想

- ・参加者が高齢者ばかり。子育て施策、定住施策などは、PTA 連合会、その他若者（ターゲットとなる世代）とミーティングできる機会をもってはどうか。  
幅広い年齢層から意見を聞くためには、小グループでの開催や、テーマごとの開催など開催形式も工夫し、多くの貴重な意見がいただけるように努めます。
- ・質問は 1 人何回、2 分までと決めておいてほしい。的外れな意見は長々してもムダ。
- ・説明が長い。聞く市民もダラける。短くわかりやすい説明等、工夫が必要。
- ・行財政改革プランの説明は丁寧でよかったと思うが、開催時間が短く、特に意見、質問に対して残り時間で詳しい質問とそれに対する説明が不十分と思われる。ミーティングを行ったという実績作りのように思われるが、もっと丁寧な内容で次回より期待をしたい。  
市の説明は、できるだけ簡略で分かり易いようにしていきたいと思っています。参加者の方々から多くの意見をいただけるように努めたいと思います。
- ・本日の議事録を市のホームページ等で公開して下さい。  
公表します。
- ・資料は最低でも 2 週間前に市役所でもらえるようにして下さい。
- ・あらかじめ資料を配布してからタウンミーティングを開いて欲しい。  
改善します。
- ・開催されたことに感謝。
- ・良かったと思います。
- ・説明はわかりやすかった。
- ・初めてのタウンミーティングに参加したが、懇談がそのような意見発表でしめられてしまうのは残念である。後半は良くなったが。
- ・市民の質問、声を聞けなくて、市民のためにとはどうにも一方的な行政にしか思えない。
- ・今後も回数を増やして開催してほしい。
- ・行財政改革プランを 1 枚だけのペーパーに要素を入れたものが良く出来ていた。
- ・私は加西市の一市民の責務として、本日のタウンミーティングをはじめ、市会議員との対話集会などに参加して積極的に意見を述べさせていただいております。素直な意見として、こういう催しは民主的ですし素晴らしい催しであると思います。
- ・大阪市のような大胆な進歩的な改革をしてほしいと思います。陰から応援しております。
- ・本日のタウンミーティングを開催されて良かったと思います。
- ・加西市が今後進んでいく道が見えたように思います。

- ・ 質問や意見を言う時間が短い。開催時間を3時間に延長を希望します。質問の回答は質問の意味を理解し、明確に行ってください。
- ・ タウンミーティングの目的を自覚し、目的が達成できるように実行すること。現タウンミーティングは一方通行であり、市民が内容を理解していないためミーティングが成り立っていない。
- ・ 皆、市の事を考えて発言されていたと思います。かなり難題ばかりで大変ですが一步一步前に進むことを願っています。引き続きこの様に市民の声を聞ける機会が持たれることを期待しています。
- ・ 土曜日または日曜日の午後1:30~5:00ぐらいで実施して下さい。
- ・ はじめてこの会に参加しました。市長の「5万人都市再生への道」の具体的なプラン（財政面・企画面）説明を聞き、市としてよい目標、実施、評価と筋道だて、達成しようとされていることに頭が下がります。自信を持ってやってください。
- ・ 市長の目標の裏には「市民のいきいきとした生活」があつてこそと思います。そのためには各町内で町民が生き生きと過ごしているか、またそのためにはどうするか、小さなところから実施・実践していくことが大切であると思う。
- ・ 行政と市民の「加西市を住みやすい町に」というベクトルを同じ方向に向けて取り組む必要があると改めて思いました。官は民の上に立つものではありません。もちろん過剰な市民サービスを行う必要もありません。普通の行政感覚の下で市民が明るく暮らしていける市でありたいと思います。
- ・ 5万人都市の再生は西村市長の公約であり、既に行革プランにも達成に向けて議会で審議、協議中の案件、素案もあり、大変重い課題であるが、雇用と元気になる加西市を創出するため、市長と議会は一体となって有効な取り組みと、市民が魅力を感じる加西を造り出すことに政治生命をかけ、職員、市民も効率的3年間に全て完成さす思いで、責任を持って5万人都市再生に向けた加西市政の取り組みに成果をご期待申し上げます。市民として支持、支援したい。  
 タウンミーティングは、今後も継続して開催します。また、皆様のご意見をお聞きしながら、改善していきたいと考えます。

## 2 . 行財政改革プラン

- ・ 今日、予算案を見ましたが、バラマキ予算です。人口増対策で第2子以降の保育料がわずか1,384万円にしかされていません。これで人口増対策に重点をおいた予算と言えますか？  
 2人以上のこどもを育てている家庭に対して保育料の一部を助成することにより、子育てにかかる経済的な負担を少しでも軽減するために創設したものです。兵庫県が第3子以降の児童に実施している「ひょうご多子世帯保育料軽減事業」を第2子以降の児童に拡大するものです。
- ・ 平成23年以降、扶助費が横ばいで推移しているが、社会保障費は増えるのでは。算出根拠を明らかにしてほしい。  
 扶助費については、社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費、教育費等で構成され、社会保障関係費の増減見込みや生産年齢・高齢者・15歳未満人口推計等を反映させ試算しています。  
 なお、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療各特別会計に対する繰出金は、決算統計の性質区分上、その他に分類されており、H32年は14.5億円でありH22年の12.1億円と比較すると10年間で19.8%増加を見込んでいます。

- ・投資的経費が一気に増えるが、大まかな内容は決まっているのか？ おそらくという数字では話にならない。学校耐震、改修、幼保再編にどれ程の額を見込んでいるのか、数値的根拠を大きく示してほしいところ。根拠がないので、見通しが正しいか、具体的な大まかな見通しがどうなっているのか判断できない。議論する前段階の問題ではないでしょうか。

投資的経費のうち主なものは、教育施設の耐震補強・大規模改造工事であり、平成 28 年度までの 5 年間で約 42 億円（一般財源：約 8 億円）の事業を予定しています。そのほかにも焼却施設整備事業としてクリーンセンター補修工事が平成 26 年度から 28 年度までの 3 年間で約 19 億円（一般財源：2 億円）の事業費で計画されています。

- ・予算の大幅な増減があるところ（人件費抑制、施設の統合など）予定で良いので数字を含めたプランを示してほしい。
- ・いつまでに、どれ程の予算で、何のためにやるのか 5W1H に沿ったプランを（大きな事業ごとにそれぞれ）

人件費の削減の内容は、3 役の給与カットを始め職員の賞与及び管理職手当の人事院勧告・独自カットにより 10 年間で約 11 億円を見込み、退職者一部不補充により 24 名の職員数削減で約 19 億円を見込んでいます。一方、施設の統廃合は、H26 年度からの保育所・幼稚園施設の統合・民営化等により、7 年間で約 5 億円の改善効果を見込んでおります。

- ・収支に合った収入が一般企業では当たり前です。もっとそれにあった数字が必要では。目標がないとただの分析で終わってしまうと思います。

ご指摘いただいておりますとおり、収入予算に見合った歳出予算を編成し、収支均衡させることが重要です。しかしながら「5 万人都市の再生」に向け平成 27 年度までは、少子化対策、耐震補強工事等に前倒して投資するため収支赤字になっております。

- ・未来の子供が増えることにもっとお金と力を入れてほしいです。

「5 万人都市の再生」を目指して平成 24 年度予算は、中学生以下の医療費無料化、第 2 子以降の保育料一部助成等子育て支援に特に重点を置き編成しているところです。

### 3 . 5 万人都市再生について

- ・5 万人再生達成のための対応未整備の部分があり、その辺はどうなっているか。
- ・5 万人都市再生には、記述された取組をすれば達成できることがわかるようにしてください。
- ・マニフェストの完全実施(1) 4 年間で 5 万人都市による後 3 年間でどうするか工程表を（毎年の）広報に掲載して下さい。
- ・「5 万人都市の再生に～」に対する施策がピンボケで見直しする必要があると思います。
- ・行財政改革プランの P29 に「総合計画の取り組みは 5 万人都市再生と正の相関関係である」と記されて、基本目標加西の元気力と抽象的な目標で 5 万人都市再生と結びつかない。また、実施結果の評価、検証、監視が困難である。
- ・総合計画と 5 万人都市再生を結びつけるため「加西の元気力」に 5 万人都市再生または目標人口 51,800 人（第 4 次総合計画の人口目標値）を併記する。
- ・5 万人再生の期限は西村市長が選挙で公約した平成 27 年 6 月であるため、大至急、対策を見直す必要がある。

・総合計画、国土利用計画等、計画の推進方法を改善して達成率を100%にしてください。今までのこれらの計画の達成率は50%以下であり、計画は絵に描いた餅であった。現計画も今までと同様に取り組むと同様の結果になります。市長をはじめとしたリーダーは、計画が達成できないと職を辞する覚悟で取り組んでください。今までの悪さは今までの取り組みを反省し、未達成の原因を検証すればわかります。

・現在計画されている全取組を分類すると共に各取組の目標人口増と減値および実施日程を表にしてください。(目標人口は平成23年を基準とした値とする(2012年12月末総人口47,472人)人口増対応の目標人口はプラス値で表示する。人口減防止の目標人口はマイナス値で表示する。総人口、流入人口、出生人口、死亡人口、流出人口と各々に目標値を設定し、取り組みの評価、検証、監視をする。)

第5次総合計画は、今後の人口推計を提示した上で、あえて5万人都市加西の再生をめざすことを明言しております。難しい取り組みであることはご指摘のとおりです。人口が減少していく中で、今ここで再度、踏ん張り、5万人都市の再生をめざすことが、心豊かに暮らせる加西市づくりにつながると思います。

また、総合計画は市民も含むみんなで取り組む計画です。個々の取り組みを積み上げ、その結果として市民全体で評価すべきものと考えます。5万人都市再生に向けて、何を実行していくのか、具体的な計画の実行が、市民の皆さんに見えるよう進めてまいります。

・取組項目と第5次総合計画および行財政改革プランの関係が明確にわかるよう系統だて整理をしてください。課題と取組、目標値、日程、担当等の一覧表を作成してください。

行財政改革プランは総合計画の実施計画として位置づけており、3年ごとに取組み、目標、担当を明記しています。

・周辺市町で人口減がおさえられている市があるが、それは加西市とどこが違うのか、立地条件の違いはあると思うが、そこを明確にとらえて行政を進めてほしい。

立地条件の違いはありますが、見習うべき点はしっかり学び、施策に反映していきたいと考えます。

・「第5次総合計画」の4.将来人口(2)人口減少とその対策にある表「人口減少の影響と対策」は人口減少に対する人口維持対策であり、5万人都市再生に向けた人口増対策ではないように思われる。

人口維持対策と人口増対策の両方を含みます。

#### 4. ふるさと創造会議

・ふるさと創造会議を考えておられるが、現在各小学校区に「はつらつ」委員会、各町に「いきいき委員会」があり活動しているが、それらとの関係をどうとらえておられるのか。うまくつなげていただきたい。「会議」「委員会」が増えるのはどうかと思う。

加西ふるさと創造会議は小学校区にひとつ立ち上げていただくことを想定しております。ご指摘のとおり、小学校区においては、はつらつ委員会をはじめとして、既に区長様や農会長様、老人会やPTAなど各種団体の役員による組織が各自治会においてもたくさんあります。

どのような形態が望ましいのかについては、各地域で議論していただく予定で、その際には市の方で

も、他市の事例等を検討し、また、標準的な組織構成などもお示ししたいと考えます。

従前からある組織を母体とすることもひとつの方法です。あるいは、地域の様々な組織を新たな創造会議のもとに集約、再整理するのもひとつの方法であると考えます。

いずれにしましても、組織構成や運営体制について、市役所の考え方を一方的に押し付けることなく、各地域の実情を踏まえたものとなるよう柔軟に対応したいと考えます。

## 5 . 職員の人件費削減

- ・ 行財政改革プラン、4年間で5万人都市、総人件費2割削減がまったく見えません。作成しなおして下さい。あと3年間でどうして5万人都市、総人件費2割削減をされるのか？6月議会で総人件費2割は6.7億円と答弁されていて、質問した議員からは退職不補充、民間に任せるものは民間に任せるという意見がでていますが、市長は行財政改革の中で追求すると言われていています。
- ・ 人件費2,638百万円 + その他広域消防542百万円として、人件費合計3,180百万円×20% = 636百万円。まずH24年に7.8%削減すべき。残りをH25年、H26年に6.1%ずつ削減。

人件費の削減額で指摘を受けていますが、目標は最低限の約束と考えています。日本の社会保障制度改革のもと、今後定年延長等により、見通しが立てにくい部分ではありますが、行革プランP22、P23に記載しているように、市民サービスの低下、組織活力、将来の人事構造に注意を払いながら適切に削減をめざしていく所存です。

- ・ P17の表「10年間の財政収支見直し」の人件費の削減金額は、人件費の11.2%である。20%の金額に修正すること。
- ・ 第5節人件費の抑制に2割削減を目標に合わせる。
- ・ 総人件費の2割削減の処置がとれていない。

「人件費」に計上されている経費のうち、削減対象とならない各種委員報酬、消防団公務負担、負担金に振り代わった広域消防職員の人件費、共済費や退職手当負担金を除いた額の20%である3.5億円を削減目標としています。

- ・ 事務量調査を行う。この調査に経験豊富な市民がたくさんいるため、市民が参加した事務量調査を行ってください。目的は市民が開かれた市役所にするためです。同時に事務作業のムリ、ムダ、ムラを排除した事務作業標準を作成してください。

事務量調査の参考にさせていただきます。

- ・ 加西市の職員数の最適人数は何人？

職員数は人口規模により概ね決まりますが、施設の多寡、事務の共同処理等の状況を考慮しつつ、類似団体比較を一応の目安としています。参考までに、総務省発表の平成22年の全国の類似団体比較では、加西市の該当類型 - 0では89団体で少ない方から2番目、人口5万人以下の 類型686団体中でも8番目と職員数は全国的にも少ない状況です。

- ・ 「給与制度改革」はどんな組織で行っているのですか？市民を含めた組織で改革し、市民の理解が得られる給与水準にしてください。

給与制度につきましては、地方公務員法の規定に基づき、基本的には国の人事院等の専門的な機関により制度設計された内容に準拠しています。給与水準についても民間準拠が基本とされ、人事院や県

の人事委員会調査結果に基づき定めています。本市のような規模では独自の給与制度を構築することには限界がありますが、改革プランでは人材育成にも考慮した客観的かつ公平な人事評価のしくみを構築し、給与にも反映する制度を早期に導入することを掲げています。公務員の給与制度につきましては、技術的・専門的な側面が強いですが、今後とも総務省の「給与情報等公表システム」による情報開示により説明責任を果たしていきたいと考えています。

- ・人件費について特別職、管理職の職員の方々の給与カットがかなり大幅なものであり、その金額を子育て支援に当てるとのこと、大変ありがたく思います。  
ご理解いただき、ありがとうございます。一般職員も含めカット分を子育て支援等に充てることとしております。

## 6 . 教育

- ・不登校の生徒が増加しているが対策は。地域での取り組みが必要。  
教育委員会では「不登校対応マニュアル」を作成し、各学校・関係機関と連携し、不登校の未然防止、早期対応に努めるとともに、夜間相談窓口の新設など、教育相談の充実を図り、きめ細やかな支援を行っています。地域の皆様には、今後とも子どもたちへ温かい声かけなど、地域で子どもたちを育む取組をお願いします。
- ・北条高校の学力低下について。学区の変更により、生徒数が減少となっている。他の市町から通学してもらえようような状況を作る必要が。  
市内の学校に通う高校生が減少している現状については、県等に働きかけ改善を図る必要があると考えます。

## 7 . 大学連携

- ・2～3年前に実施していた東洋大学とのコラボはどう取り組んでいるのか。  
公民連携をテーマとする共同研究を実施し、これまでに幅広い分野にわたる多くの知見、提案等をいただいています。様々な計画づくりや個別施策の中で活用しているところであります。

## 8 . 北条鉄道

- ・車両ラッピングは要注意。利用者数が増加する計画に改めること。例えば、市職員及び関係会社の社員は全て利用するようにする。北条鉄道の駅周辺に在住 70 人程度が利用可能と思われます。利用者数の計算方法は？地球温暖化防止の為、自家用車利用を控え公共交通機関を利用する国の方針を PR し、利用者増を進めてください。  
実施計画にある車両ラッピングは北条鉄道ではなくコミュニティバスの計画となっています。  
北条鉄道での通勤についてはアンケートも取りながら、鉄道だけでなく、駅から、あるいは駅までのアクセスも含めて検討が必要となります。温暖化防止等、利用促進の呼びかけについても同じことが言えます。現在、北条町駅からのバスアクセスについては改善を進めているところです。  
北条鉄道乗車数は定期利用者の回数分と定期外利用者の実数の合計です。

## 9 . 加西インター周辺開発

- ・加西インター周辺の再開発はどのようになっていますか。ホームページにでも回答下さい。
- ・5万人都市再生に向けて頑張ってください。インター周りの土地の調整区域を外し、もっと活気のある街になってくれたらと思う。

加西インター周辺は、市街化調整区域に位置付けられています。現在、インター周辺の土地活用を図ることを目的に、地元の皆様と協働で勉強会を開催しており、今後は、取り組みの進捗状況を、ホームページに掲載する等、情報発信に努めます。加西市への玄関口として、加西インター周辺の土地利用を図ることは、大きな課題と考えています。

今年3月に策定した加西市国土利用計画では、都市計画や農業、流通拠点など多面的な活用を想定しており、将来の開発の幅を広く設定しています

## 10 . 道路

- ・県道ではあるが、河内～明楽寺線は交通量が多いのに、道幅が狭い。学生の自転車通学も多く、大変危険であると思う。早急に改修される事を望む。

河内～明楽寺の区間は、通勤通学時間帯にかなりの通行量があるものの歩道が無く路肩も狭いため危険であると認識しており、去る平成23年6月27日に加西市より兵庫県北播磨県民局長へ整備促進の要望書を提出し、それを受け県民局で整備のための準備を行っていただいています。

## 11 . 若者の雇用確保

- ・子供が少なくなる状況を何とかくい止めなければならないので、市内より他市町へ出て行く若者をとどめると共に、すでに他市町に住んでいる人をリターンさせるあらゆる施策を考えてほしいものです。人口を増やすには働く職場の確保も必要な要件のひとつだと思いますので、工業団地の企業等にも市内の人達の採用をすすめてもらうようお願いをしてほしい。

工業団地内の人事担当者から、「出来る限り市内の方に就職して頂けるよう努力している。ただ、パート・アルバイトは比較的市内の方を多く採用しているものの、正規職員の募集には応募があまり無いため、結果的に正規職員の採用が比較的少ない。」との話を聞いています。今後、このような現状を踏まえながら地元採用が多くなるよう検討したいと思います。

## 12 . 出会いを求める若者支援

- ・総合計画 P31 の職域交流事業数の目標指標について5年で2回は少ないと思います。  
毎年2回ですが、回数については今後要検討したいと考えています。
- ・結婚していない若者が増加している。男女の出会いは少ないので、そんな場づくりはどうか、支援は？  
総合計画で位置づけているとおり、職域間交流を実施し、男女の出会いの機会を設けたいと考えています。

## 13. 蓄発電システム

- ・発電は何発電ですか。太陽光発電は採算性が悪い(40~60円/1kw・H)ため要注意。太陽熱発電の方が優れています。国土利用計画では森林の維持・保全のため、木質バイオマスの活用が推進されている。間伐材や木クズを活用した発電も考えられます。

太陽光による蓄発電システムはその実現可能性を検証している状況です。また、再生産可能で環境への負荷の少ない木質バイオマスの利用は、地球温暖化の防止、循環型社会の形成や里山地域の活性化等を図る上で重要であると認識しています。いずれも地域に合った利用を研究したいと考えます。

## 14. 観光

- ・一乗寺のトイレと水道についての苦情。

頂いたご意見につきましては、一乗寺にもお伝えさせていただきます。今後も加西市を知っていただくためにもPRに努めてまいります。

- ・玉丘古墳が現在駐車場と観光客のトイレ休憩所として使用されているのみで、他に活用されている状況がないように思われます。もっと民間に門戸をひらき、イベント等も行い、収益も図ってはどうか。このような施設が市内に沢山あると思われるので、ご検討もよろしく。

玉丘史跡公園は「歴史学習施設」「観光施設」「公園緑地施設」等に活用できる施設として位置づけています。現在、公園では芝生広場でのグランドゴルフや園路でのウォーキングなど市民の健康づくり利用、小学生の遠足や史跡見学など歴史学習利用、指定管理者による体験イベント開催などに活用され、指定管理者ホームページ等でPRをはかり、年間約25,000人の利用者がいます。今後も公園の利用者増にむけて、PRや環境整備に努めてまいります。

## 15. 有害鳥獣対策

- ・猪・鹿柵について。年々増加している農業被害。鹿との交通事故が増加しているが、市は重点施策として取り組んでほしい。(特に中国道より北)

農家にとっては、大きな問題となっていることから、鳥獣被害を如何に低減させるかを目的としたハード・ソフト両面での支援を進めていきます。ハード整備については、昨年よりも大幅な予算確保により、防御柵については昨年の3倍の延長の整備を予定しております。整備に関する要望については約50kmの要望をお聞きしておりますので、早期に整備を進めてまいります。

また、ソフト対策については、昨年度から、一部地域で取り組んでおります「集落ぐるみでの対策」で、シカ・イノシシ対策を中心に集落の方と一緒に、餌付け防止対策、農作物の防御対策、野生動物の追い払いについて考える場の開催を本年度も引き続き進め、獣害被害の軽減に努めてまいります。

## 16. 公園墓地

- ・大変古く汚く感ずる。明るく、新たな感じのする公園墓地にして欲しい。

市の公園墓地は、昭和56年3月に県知事の経営許可を得、今日まで経営・運営を行っています。墓地の区画は、昭和56年から平成6年にかけて順次整備し、総数は674区画を確保し、内644区画が現在使

用されています。30年近くの間到现在のような墓石が整備されて来ました。森閑とした山里にあり、やっと落ち着きのある墓地になって来たと感じております。トイレ等も墓地に馴染んだ物を設置してまいりました。今後も、利用者のご要望をお聞きし、墓地としての理念を保ちつつ、管理と改善を図って参ります。

- ・道路（公園内と墓地周辺の生活道）の改良を希望する。  
公園墓地の周辺道路は市道であり、今後整備を進めて参ります。
- ・公園墓地周辺の防犯灯の完全配置、周辺の生活道路、オークタウン加西の入口には未設置である。  
ご指摘の防犯灯は、地元区長、関係課と協議を行い、必要なものにつきましては、早期に設置して参ります。
- ・地区の生活道路の改良、地区周辺の水路、ため池改良など地元地区への配慮がありますか。先日のため池実態調査では、3ヶ所ため池はランクDかEの最悪の状態です。進入道路等の草刈等とセイタカアワダチソウの繁茂している。  
斎場・墓地周辺整備につきましては、昭和56年の計画施工以来、地元要望をお聞きしながら、順次整備を行って参りました。今回のため池調査は、県が土地改良連合会に委託（工期：平成24年1月から3月末）し、調査中のため、時間の猶予を頂きたいと思っております。進入路等の草刈りにつきましては、今後検討して参ります。

## 17. 民間住宅の家賃保証

- ・民間住宅の家賃保証は10年間しかありません。20年間に話し合いはもたれたのか、なぜ20年できないのか？（家主の借金は30年間です。）  
家賃保証制度とは、賃貸マンション・アパートを不動産業者が一括して借上げるもので、空室であろうが、入居者がおられようが関係なしに、毎月確実に保証料引きの賃料が、オーナーの手元に入ってくる制度です。家賃保証が10年とのことですが、この制度は、オーナーと不動産業者及び保証会社との契約になり、市が関与できるものではございません。